障害福祉分野のICT導入モデル事業 事業報告書

自治体名 埼	玉県
-------------	----

【基本情報】

フリガナ	シャガイフクシホウジ ン サイタマケンシャガイフウシジ ギョウダ ン				
法人名	社会福祉法人 埼玉県社会福祉事業団				
フリガナ	アサガコウヨウエン				
事業所名	事業所名 あさか向陽園				
提供サービス(複数のサービスを	提供している場合は、主たる1つのみ選択)				
	施設入所支援				
職員数(常勤換算数) 【「全職	哉員数(常勤換算数) 【「全職員の月間勤務時間数」/「常勤職員の月間勤務時間数」にて算出(産休・育休、休職は除く)】				
	24.0 人				
ICT機器等導入完了日	ICT機器等導入完了日 令和6年12月4日				

※行・列の追加は行わないでください。

(1) モデル事業の実施以前における当該事業所のICT機器等の導入・活用状況

(=) 3 -1 2 - 2 - 2 - 2 - 2 - 2 - 2 - 2 - 2	(-) 3711-36037133-1-0-4-0-371371-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-							
業務内容	ICT機器等の導入・活用状況							
支援記録の作成	部、ICT機器等を導入している(紙とICT機器等の両方で事務作業を行ってい							
職員間の情報伝達・情報共有	部、ICT機器等を導入している(紙とICT機器等の両方で事務作業を行ってい							
請求業務	部、ICT機器等を導入している(紙とICT機器等の両方で事務作業を行ってい							
勤怠管理	部、ICT機器等を導入している(紙とICT機器等の両方で事務作業を行ってい							
シフト表作成	部、ICT機器等を導入している(紙とICT機器等の両方で事務作業を行ってい							
給与業務	部、ICT機器等を導入している(紙とICT機器等の両方で事務作業を行ってい							

- ※「業務内容」に応じ、ICT機器等の導入・活用状況を選択してください。
- ①ICT機器等を導入していない (紙のみで対応)
- ②一部、ICT機器等を導入・活用している(紙とICT機器等で対応)
- ③ICT機器等を導入・活用している(全てICT機器等で対応)

(2) モデル事業実施によるICT機器等の導入状況

ICT機器等の種別	導入目的	製品名	台 数	備考
①パソコン	①作業の迅速化	ノートパソコン HP ProBook 450 G10 Notebo		

- ※「ICT機器等の種別」については次の中から選択し、その種別ごとに導入目的、製品名、台数等を記載してください。
 - 情報端末等・・・・①パソコン、②スマートフォン、③タブレット、④インカム
 - ・ソフトウェア・・・⑤記録・情報共有・請求関連業務ソフト、⑥勤怠管理・シフト表作成・人事給与関連業務ソフト
 - ・通信環境機器・・・⑦Wi-Fi・ルーター
- なお、「⑧その他」を選択した場合には、「備考欄」に、ICT機器等の種別を記載してください。
- ※「導入目的」については、次の中から特に該当する番号を選択してください。
- ①作業の迅速化(支援記録の作成など)
- ②情報の共有化 (職員間の情報伝達・情報共有など)
- ③業務の統合化(請求業務、勤怠管理、シフト表作成、給与業務など)
- ④その他
- なお、「④その他」を選択した場合には、「備考欄」に、導入目的を記載してください。

- (3) モデル事業を活用して改善を図った業務におけるICT機器等の導入前後の業務時間、作成文書量の状況
- ① ICT機器等導入前の業務時間内訳

© 10.1 12 th 12.4 12.4 12.4 12.4 12.4 12.4 12.4 12.4															
		発生件数		C. 1件当たりの 年	年間業務時間	1人あたり									
業務内容	業務従事者数	A.ひと月当たり	B.年間発生件数	平均処理時間									D (B×C)	業務時間	備考
		発生件数	(A×12)										0 (80)	370 == 310 = (= =)	(D/業務従事者数)
①支援記録の作成	24 人	30 件	360 件	60 分	360 時間	15 時間									
⑦その他	1人	6 件	72 件	30 分	36 時間	36 時間	会議及び委員会等の準備								
			0 件		0 時間	#DIV/0!									
			0 件		0 時間	#DIV/0!									
			0 件		0 時間	#DIV/0!									
		36 件	432 件	90 分	396 時間	#DIV/0!									

^{※「}具体的な業務内容」については、①支援記録の作成、②職員間の情報伝達・情報共有、③請求業務、④勤怠管理、⑤シフト表作成、⑥給与業務、⑦その他から選択してください。 なお、「その他」を選択した場合には、「備考欄」に、業務内容を記載してください。

以下の※1及び※2については、ICT機器等導入前の実際の業務状況に即した算出をお願いします。

<※1>A. ひと月当たり発生件数の算出方法

①支援記録の作成 30件 (支援記録は毎日行うため月平均を算出)

⑦その他 6件 (会議及び委員会のひと月当たりの平均開催回数を算出)

<※2>C. 1件当たりの平均処理時間の算出方法

①支援記録の作成 60分 (業務内の記録時間及び業務従事者への聞き取りにより算出)

②その他 30分 (会議や委員会等の印刷等の資料準備に係る時間を聞き取りにより算出)

② ICT機器等導入後の業務時間内訳

© 101%加寸等八枚9未约时间广加							
		発生作	件数 C.1件当たりの		年間業務時間	1人あたり	
業務内容	業務従事者数	A.ひと月当たり	B.年間発生件数	平均処理時間	D (B×C)	業務時間	備考
		発生件数	(A×12)	1 370 21 310	- (/	(D/業務従事者数)	
①支援記録の作成	24 人	30 件	360 件	40 分	240 時間	10 時間	
⑦その他	1人	6 件	72 件	10 分	12 時間	12 時間	
			0 件		0 時間		
			0 件		0 時間		
			0 件		0 時間	#DIV/0!	
		36 件	432 件	50 分	252 時間	#DIV/0!	

^{※「}具体的な業務内容」については、①支援記録の作成、②職員間の情報伝達・情報共有、③請求業務、④勤怠管理、⑤シフト表作成、⑥給与業務、⑦その他から選択してください。なお、「その他」を選択した場合には、「備考欄」に、業務内容を記載してください。

以下の※1及び※2については、ICT機器等導入前の実際の業務状況に即した算出をお願いします。

<※1>A. ひと月当たり発生件数の算出方法

①支援記録の作成 30件 (支援記録は毎日行うため月平均を算出)

⑦その他 6件 (会議及び委員会のひと月当たりの平均開催回数を算出)

<※2>C. 1件当たりの平均処理時間の算出方法

①支援記録の作成 40分 (業務内の記録時間及び業務従事者への聞き取りにより算出)

②その他 10分 (会議や委員会等の印刷等の資料準備に係る時間を聞き取りにより算出)

年間業務時間数削減率(%)

36.4%

※以下のICT機器等導入前・後の作成文書量は、該当する文書がある場合に記載してください。

③ ICT機器等導入前の作成文書量

● ICT版份寸等八削のFF版文音里					
	作成文書量				
作成文書	A.ひと月当たり	B.年間作成文書量 (A×12)			
		0ページ			
		0 ページ			
		0 ページ			
	0ページ	0ページ			

④ ICT機器等導入後の作成文書量

ſ		作成文	書量
۱	作成文書	A.ひと月当たり	B.年間作成文書量
L		N.0 C/J = /C/	(A×12)
l			0 ページ
I			0 ページ
ĺ			0 ページ
ſ		0ページ	0ページ

年間作成文書量削減率(%)

#DIV/0!

1	4)	ICT	機器:	筝の	道:	入効	果

① 事業所におけるICT機器等導入の推進方法

○業務改善のプロジェクトの中で、業務のムリ・ムダ・ムラを洗い出し、ICTを活用することで改善できる可能性を検討することとした。

- ○管理監督者が率先してICT機器を活用することで、新しい技術の導入に対する職員の不安感を軽減することとした。
- ○手作業で入力していたものをPCで入力することにより、時間短縮になる一方で、手作業の根強い文化もあり、
- なかなかなじめない職員もいる。

※事業所において、ICT機器等の導入をどのように進めたか(事業所内の推進体制、外部への相談など)を記載してください。

また、事業所にICT機器等の導入にあたり工夫した点、苦労した点がありましたら、その点も記載してください。

②ICT機器等の導入による業務の変化(複数選択可)

情報端末導入による効果 ② 1 支援記録の作成に要する時間が減った。

- ☑ 2 支援現場や外出先で支援記録の作成ができるようになった。
- □ 3 インカム等の導入により、職員間の情報伝達や職員の移動負担が軽減した。
- □ 4 利用者の情報を一元管理できるようになった。
- □ 5 その他の効果があった。
- 6 効果がなかった。

×	「その他の効果があった	を選択した場合には、	その内容を記載してください。

効率化を図るための視点が養えた

ソフトウェア**導入による**効果

- □ 1 支援記録の作成に要する時間が減った。
- □ 2 支援現場や外出先で支援記録の作成ができるようになった。
- □ 3 利用者の情報を一元管理できるようになった。
- □ 4 記録業務、情報共有業務、請求業務を一気通貫で行えるようになった。
- □ 5 勤怠管理、シフト表作成等の業務を一気通貫で行えるようになった。
- □ 6 その他の効果があった。
- 7 効果がなかった。

※「その他の効果があった」を選択した場合には、その内容を記載してください。

化を図るための視点が養えた。		
	•	

③ICT機器等の導入による業務効率化及び職員の業務負担軽減の状況

- ○手作業で行っていた記録類をPCによる入力にすることができた。
- ○会議や委員会等のペーパーレス化がすすみ、資料準備等に係る時間が短縮された。
- ○会議録や委員会記録、打合せ記録等がノートパソコンが導入されたことにより、その場で記録ができ、

業務の効率化が図れた。

※ICT機器等の導入により、どのような業務改善ができ、どのような業務効率化が図られたのか、また、職員の業務負担軽減にどのような効果があったのか、 具体的に記載してください。

④ICT機器等の導入による業務効率化で確保できた業務時間の活用方法

○時間外業務の短縮

○施設のご利用者への余暇支援やイベントの充実

※ICT機器等の導入により、業務効率化で確保できた職員の業務時間について、他のどのような業務に活用できたかなど、具体的に記載してください。

(5) ICT機器等の導入による費用面での効果

ICT機器等の導入による費用の縮減 無

※ICT機器等の導入による費用の縮減が「有」の場合、以下についても回答をお願いします。

縮減額(円)	
職員の賃上げ等への充当	
その他職場環境の改善への充当(※1)	
サービスの質の向上に係る取組への充当(※2)	

(※1)	「その他職場環境の改善への充当」	の内容について、	具体的に記載してください。

(\\	2)「サービスの質の向上に係る取組への充当」の内容について、具体的に記載してください。
(**	2) 「リーヒスの貝の内工に依る収組への光ヨ」の内容について、呉体的に記載してくたさい。